

【第2問】 次の設例に基づいて、下記の各問（《問4》～《問6》）に答えなさい。

《設例》

会社員のAさん（30歳）は、将来に向けた資産形成のため、株式や投資信託に投資したいと考えているが、これまで投資経験がなく、株式や投資信託の銘柄を選ぶ際の判断材料や留意点について知りたいと思っている。

そこで、Aさんは、ファイナンシャル・プランナーのMさんに相談することにした。Mさんは、Aさんに対して、X社株式（東京証券取引所上場銘柄）およびY投資信託を例として、株式や投資信託に投資する際の留意点等について説明を行うことにした。

＜X社株式の情報＞

- ・ 株価 : 1,700円
- ・ 発行済株式数 : 5,000万株
- ・ 決算期 : 2023年11月30日（木）（次回の配当の権利確定日に該当する）

＜X社の財務データ＞

（単位：百万円）

	80期	81期
資産の部合計	102,000	110,000
負債の部合計	23,000	27,000
純資産の部合計	79,000	83,000
売上高	65,000	73,000
営業利益	6,800	7,500
経常利益	6,500	7,000
当期純利益	4,900	5,200
配当金総額	2,400	2,600

※純資産の金額と自己資本の金額は同じである。

＜Y投資信託（公募株式投資信託）に関する資料＞

- 銘柄名 : エマージング株式ファンド
- 投資対象地域／資産 : 海外／新興国株式
- 信託期間 : 無期限
- 基準価額 : 13,500円（1万口当たり）
- 決算日 : 年1回（11月15日）
- 購入時手数料 : 3.3%（税込）
- 運用管理費用（信託報酬） : 2.068%（税込）
- 信託財産留保額 : 0.3%

※上記以外の条件は考慮せず、各問に従うこと。

《問4》《設例》の〈X社株式の情報〉および〈X社の財務データ〉に基づいて算出される次の

①、②を求めなさい（計算過程の記載は不要）。〈答〉は、表示単位の小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを解答すること。

- ① 81期におけるROE（自己資本は80期と81期の平均を用いる）
- ② 81期における配当利回り

**正解**

（単位：百万円）

	80期	81期
純資産の部合計	79,000	83,000
当期純利益	4,900	5,200
配当金総額	2,400	2,600

- ・ 株価：1,700円
- ・ 発行済株式数：5,000万株

$$\textcircled{1} ROE = \frac{5,200}{(79,000 + 83,000) \div 2} = 6.42\%$$

$$\textcircled{2} \text{配当利回り} = \frac{2,600 \text{百万円} \div 5,000 \text{万株}}{1,700 \text{円}} = 3.06\%$$

《問5》 Mさんは、Aさんに対して、X社株式を購入する際の留意点等について説明した。  
Mさんが説明した次の記述①～③について、適切なものには○印を、不適切なものには×印を解答用紙に記入しなさい。

- ① 「X社株式のP E Rは15倍を下回っています。一般に、P E Rが低い銘柄ほど株価は割安とされていますが、X社株式に投資する際は、他の投資指標とあわせて同業他社の数値と比較するなど、多角的な視点で検討することが望まれます」
- ② 「仮に、Aさんが特定口座（源泉徴収あり）において、X社株式を株価1,700円で300株購入して同年中に株価1,750円で全株売却した場合、その他の取引や手数料等を考慮しなければ、売却益1万5,000円に対して20.315%相当額が源泉徴収等されます」
- ③ 「上場株式の配当を受け取るためには、普通取引の場合、権利確定日の2営業日前までに株式を買い付け、権利確定日まで売却せずに保有する必要があります。仮に、Aさんが2023年11月28日（火）にX社株式を普通取引により買い付け、翌営業日の29日（水）に売却した場合、X社株式の次回の配当を受け取ることはできません」

正解

×①

(単位：百万円)

	81 期
当 期 純 利 益	5,200

- ・ 株価 : 1,700円
- ・ 発行済株式数 : 5,000万株

$$\text{X社のPER} = \frac{\text{株価1,700円}}{\text{当期純利益5,200百万円} \div \text{株数5,000万株}} = 16.3\text{倍}$$

○②

- ×③ 「買い付けた翌日に売却する」ためには信用取引による売り（空売り）であることが推定される（現物の売りは3営業日以降になる）。その場合、権利落ち日以降に借りた株式を買い戻して返却すれば、配当金の権利を得ることができる。

《問6》 Mさんは、Aさんに対して、Y投資信託を購入する際の留意点等について説明した。  
Mさんが説明した次の記述①～③について、適切なものには○印を、不適切なものには×印を解答用紙に記入しなさい。

- ① 「運用管理費用（信託報酬）は、投資信託を保有する投資家が負担する費用です。一般に、アクティブ型投資信託は、パッシブ型投資信託よりも運用管理費用（信託報酬）が高い傾向があります」
- ② 「ドルコスト平均法は、価格が変動する商品を定期的に一定口数購入する方法であり、定期的に一定額購入する方法よりも平均購入単価を引き下げる効果が期待できます」
- ③ 「仮に、Y投資信託から収益分配金が支払われ、分配後の基準価額がAさんの個別元本を上回っていた場合、当該分配金はすべて元本払戻金（特別分配金）となります」

**正解**

○①

×② 「一定口数購入する方法」ではなく「一定金額購入する方法」

×③ 分配後の基準価額が個別元本を上回っていた場合、当該分配金はすべて普通分配金